

令和7年度第3回認知症の人にもやさしいデザインのガイドライン化検討委員会 議事録

日 時 : 令和7年8月6日(水) 10:00～12:00

場 所 : 福岡市認知症フレンドリーセンター セミナー室

- 委員会: 佐藤委員長、定村委員、柴田委員、小原委員、志賀委員、中牟田委員、宮内委員、柳委員(オンライン) ※欠席)後藤委員

(1)決定事項

- 施設整備マニュアルへの反映: 認知症デザインに関する誘導基準を反映した施設整備マニュアル改定案について、承認済みであることを確認。
- トイレピクトグラムの修正: 施設整備マニュアルに掲載するトイレピクトグラムについて、誤解を避けるため従来の JIS ピクトグラムも併記し、色覚特性にも配慮した色彩で表示する。
- 令和7年度の実施内容: 昨年度からの継続検討事項に加え、「認知症の人にもやさしいデザインの案内板の作成と行動調査」「認知症の人にもやさしいトイレサインの実証」を令和7年度の実施内容として進める。

(2)議事詳細

1. 施設整備マニュアルへの反映内容報告

- 事務局より報告。

2. 令和6年度第2回ガイドライン化検討委員会での意見と対応について

- 事務局: 前回委員会での意見(コントラストの計測方法の明示、サインの大きさの定量的検討、多言語表示等)に対する対応方針を説明。サインの大きさや多言語表示については、令和7年度の当委員会継続検討事項とする。
- 委員: 橋本地区の案内板検証では、グループホーム利用者など認知症当事者の意見を直接聞くべき。
- 委員: 施設整備マニュアルのトイレピクトグラムを最新のデザインに差し替えたい。
- 委員: ピクトグラムの掲載が「義務」であると誤解されないような表現になっているか確認が必要。
- 委員長: 誤解を避けるため、従来の男女ピクトグラム(JIS)も併記すべき。また、事例として示すサインの色は、色覚特性を持つ方にも配慮したデザインにすべき。

- **（多言語表示に関する議論）:**
 - **委員長:** 多様な人々が分かりやすいユニバーサルデザインの観点から、多言語対応は重要。
 - **委員:** 情報を詰め込みすぎると、かえって誰にとっても分かりにくくなる懸念がある。基本は日本語・英語・ピクトグラムとし、必要に応じて地域特性を考慮すべき。

3. 橋本駅駅前広場事後評価の報告

- **事務局:** 認知症デザインを導入した橋本駅と、未導入の周船寺駅で比較検証を実施。
 - **行動観察の結果:** 認知症の人は、過去の記憶よりも「今日に見える情報」(ランドマーク、見通しの良さ、サイン)を頼りに行動する傾向が確認された。見通しの良さは安心感に直結する。
 - **数値評価の結果:** デザイン導入後、公共交通機関へのアクセス、サイン、ベンチなどの項目で評価が大きく改善した。
 - **今後の課題:** 設計段階からのデザイン導入、施工業者への意図伝達の仕組み、景観とのバランスが重要。
- **委員:** 「記憶に頼らず行動できる空間作り」の重要性を再認識した。サイン自体のデザインだけでなく、そこに至るまでの視線誘導なども含めた総合的な検討が重要。
- **委員:** 高齢者は足元を見る傾向があるため、床面への表示も効果的ではないか。
- **委員:** 床表示は障害物に見えるなどのリスクもあるが、低い位置へのサイン設置は重要。橋本駅の現状のサインは設置位置が高く、背景に溶け込んで視認性が低い点が課題。
- **委員長:** デザイナー等が意図を理解せず自己判断でデザインを変更しないよう、マニュアル共有の徹底を今後の指針に盛り込むべき。

4. 令和7年度実施内容案の説明

- **事務局:** 令和7年度の実施内容として、①施設整備マニュアルへの反映(報告済み)、②継続検討事項(コントラスト統一の基準化等)、③橋本地区での案内板作成と行動調査、④高齢者施設でのトイレサインの効果実証、を提案。
- **（トイレサインの実証に関する議論）:**
 - **委員:** 要介護度の高い方が多い特別養護老人ホームでの実証は難しい可能性がある。ご自身で行動できる方が多いグループホームやデイサービス、地域包括支援センターと連携した在宅での検証などが考えられる。
 - **事務局:** 導入前後で「スタッフに声をかけずに自分でトイレに向かう」といった行動の変化を指標とすることが可能ではないか。
- **（案内板の作成に関する議論）:**

- **委員:** 地図は認知症の人にとって理解が難しい場合が多く、矢印の方が機能する可能性がある。福岡市の既存のサイン計画との整合性も考慮し、複数のデザイン案を比較検証すべき。
- **委員:** サインの盤面デザインだけでなく、アイストップなどを考慮した効果的な「設置位置」についても検証項目に加えるべき。

(3)確認事項・その他

- 福岡市の既存の都市サイン計画マニュアルの現状を確認し、今回の試験導入との整合性を整理する。

(4)次回会議の予定

- **技術部会:** 2025 年 09 月 10 日 10:00～
- **第 4 回委員会:** 2025 年 11 月予定(詳細は後日調整)
- **議題:** 令和 7 年度実施内容の進捗報告(トイレサイン実証計画、橋本地区案内サイン盤面案・設置計画)等